

目 次

・「2019年度の活動報告・展示会」の発行にあたり	1
・車いす目線で撮り歩いています	2
・第14回ななお健康&福祉まつり	3
・第27回はくい福祉まつり	10
・「恵寿総合病院」展示会	16
・「青山彩光苑」障害者週間	23
・NPO法人「自立生活支援センター富山」訪問	24
・NPO法人 自立生活支援センター富山「富山生きる場センター」訪問	35
・「北國新聞社」からの取材	38
・「共同通信・金沢」支社からの取材	40
・2019年度の新聞報道記事	43
・取材、撮影協力団体一覧	49

31pの「いたち川」の解説

(「自立生活支援センター富山・訪問」にて掲載)

「いたち川」は、富山県富山市内を流れる常願寺川と神通川という富山の2大河川を結ぶ延長約12kmの河川。

「いたち川」には、常願寺川堤防にいたちが大穴を空け、それが川となったという伝説が残されています。しかし、実際には農業用水を引くために作られた川だというのが本当のようです。

昔こうした公的事業を「えだち(役)」と呼んでいたため「えだち川」と呼ばれ、それが「いたち川」になったと言われています。

芥川賞作家・宮本輝の『蜚川』は「いたち川」を舞台としています。

(ホームページより)